

視察（研修）報告書

令和 4 年 8 月 8 日

府中市議会議員 様

会派名又は

議員名 岡田 隆行

日 時	令和4年8月5日（水）10：00～12：30
視察（研修）先	リファレンス駅東ビル（福岡市博多区駅東1丁目16-14）
視察（研修）項目	地方財政の基礎「歳入」
参加者	岡田隆行
視察（研修）内容	<p>令和3年度、および4年度の地方財政のポイント</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3、4年度の地方財政（歳入）の概要と課題・地方財源の確保、地方交付税の確保、臨時財政対策債の抑制・基礎知識として3つ・・・地方税の仕組み、地方交付税の仕組み、臨時財政対策債の仕組み・データによる検証として、財政指標の見方。あわせて近年の財政指標の傾向
所 感	<p>・国や地方公共団体は、国民の福祉増進を目指して行政サービスを提供している。そのために、行政サービスは全国一定の規模・水準が求められ、法令の規定で実施が義務付けられている。</p> <p>・歳入が歳出を下回る場合、つまり財源不足が発生する場合どのように対処するか、その基本を学んだ。一つは「歳出抑制」だが、人件費や扶助費などの義務的経費、あわせて投資的経費の抑制が求められる。しかし過度もしくは急激な抑制は「地方財政ショック」に繋がりがねないので注意が必要である。</p> <p>二つ目は財源確保である。税制改正や国庫補助負担金制度の変更、地方交付税、地方債等について適切な措置が講じられることが大切である。ただし、国の財政事情がこれ以上地方交付税の法定引き上げを行える状況にない。ならば法定率の変更ではなく「制度改正」にあたる措置を執る必要がある。</p> <p>府中市もこうした視点を持ってみたい。</p>

視察（研修）報告書

令和 4 年 8 月 8 日

府中市議会議長 様

会派名又は
議員名 岡田 隆行

日 時	令和 4 年 8 月 5 日（水） 14 : 00～16 : 30
視察（研修）先	リファレンス駅東ビル
視察（研修）項目	地方財政の基礎「歳出」
参 加 者	岡田隆行
視察（研修）内容	<ul style="list-style-type: none">・ 令和 4 年度の地方財政（歳出）の概要と課題 国の貸借対照表と債務残高 地方財政（歳出）の概要 経営・財政運営・ 基礎的知識の取得 歳出構造と社会保障費 プライマリーバランスと公債 目的別歳出と性質別歳出・ 令和 4 年度の一般行政経費 地方創生とヒューマン・デジタル・グリーン まち・ひと・しごとの創生戦略 防災・減災と社会インフラ
所 感	<p>・ 次世代型行政サービスの推進と財政マネジメントの強化が図られている。情報システムの標準化をはじめとする自治体デジタルトランスフォーメーションなど次世代型行政サービスを強力に推進するとともに、公共施設などの適正配置や老朽化対策の推進に力を入れていることが傾向として伺われる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 財政状況の「見える化」はとても必要なことと思う。・ 水道や下水道の広域化等の公営企業の経営改革には疑問が残る。今後の研究が必要であろう。・ 講義の最後に触れられた公共施設等の総合的な管理による老朽化対策は府中市においても重要な課題。長期的な視点を持って取り組む必要がある。待ったなしの課題である。